

福知山市 令和元年度事務事業評価シート(3次公表)

(単位：千円)

事業属性	担当課	市長公室 大学政策課							
	作成責任者	岸本 範義							
	事業名	福知山公立大学運営費交付金事業							
	会計情報	款 教育費	項 大学費	目 大学振興費	会計 一般会計	事業コード 660105	決算付属資料 254	頁	
	施策体系	施策コード 020501	施策名 地域の将来を担う人材を育成する						
	開始年度	平成28年度							
	終了予定年度	令和2年度							
	関連計画等	「知の拠点」整備構想							
	根拠法令等	地方独立行政法人法、公立大学法人福知山公立大学運営費交付金交付規則							
	事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ()							

基礎情報	事業目的 (あるべき姿)	公立大学法人福知山公立大学の基本理念である「市民の大学、地域のための大学、世界とともに歩む大学」の実現に向けて、業務遂行にかかる財源として運営費交付金を交付することにより、法人の安定的かつ持続的な経営、大学の健全な運営を図ることを目的とする。				
	対象者	福知山公立大学生及び教職員	対象者数	405	単位あたりコスト	698.7
	実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 工事・修繕等 <input type="checkbox"/> その他 ()				
	委託先・実施主体等	公立大学法人福知山公立大学の運営に必要な経常経費を運営費交付金として交付した。				
	事業概要	《平成30年度内訳》 経常経費分 199,000千円(入学定員が少ない当面の間に発生する経常赤字を補填) 地方交付税措置分 83,104千円				
	主な経費と 具体的内容 (N-1年度実績)	項目	具体的な内容		H30経費	
	交付金	運営費交付金		282,104		
関連事業						

区分	H28	H29	H30	R1	R2要求額	
配当予算	①当初	309,812	307,080	282,104	279,248	433,368
	②補正予算	0	0	0		
	③流充用額	0	0	0		
	④繰越額計	0	0	0	0	0
前年度繰越		0	0	0	0	0
	次年度繰越		0	0	0	0
予算と執行の状況 財源内訳(①④⑥内訳)	一般財源	309,812	307,080	282,104	220,248	284,368
	国支出金	0	0	0	0	
	府支出金	0	0	0	0	
	地方債	0	0	0	0	
	その他特財	0	0	0	59,000	149,000
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称		種類	実績金額	決算付属資料	頁
	特財名称		種類	実績金額	決算付属資料	頁
人件費	0.17/0	0.1 / 0	0.11 / 0	0.11 / 0		
⑤概算人件費	1,360	800	880	880		
⑥総事業費 (①+②+③+④+⑤)	311,172	307,880	282,984	280,128		
⑦執行額	309,812	307,080	282,104			
執行率 (⑦/(①+②+③+④)×100)	100.0%	100.0%	100.0%	0.0%		

業績指標	成果実績 (アウトカム) 実績/当初目標	指標	単位	H28	H29	H30	R1	最終目標		
		全就業者数に占める北近畿地域への就業者数	人	7/25	6/25	6/19	/	65		
	大学運営の健全化(収支不足額の削減)	百万円	276/276	258/258	199/199	/	124	収支不足の解消		
活動実績 (アウトプット) 実績/当初見込	指標	単位	H28	H29	H30	R1	最終目標			
			入学定員増加	人	120/120	120/120	132/120	/	200	200
			単位あたりコスト		2581.8	2559.0	2137.2			
			志願者数の確保	人	926/600	761/600	665/600	/	850	850
	単位あたりコスト		334.6	403.5	424.2					

	項目	評価	評価に対する説明	
一次評価（担当課による自己評価）	必要性	市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	・地方独立行政法人法第42条の規定により、法人の設立団体である本市のみが実施することができる代替性のない事業である。
		民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	○	
		目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	
	効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	○	・設立時から当面の間は地方交付税及び福知山市一般財源で賄うことを踏まえ、法人においては徹底した支出抑制と収入確保に努めており、市からの負担金を最小限に抑えている。
		他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	○	
		コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	
	有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	○	・北近畿地域において、地域課題解決に向けたアンケート調査・分析、フィールドワーク等を行ったことにより、学生の課題解決力、コミュニケーション力等といった社会人基礎力の涵養につながったとともに、地域活性化に向けて地域住民からの期待も徐々に高まっているため、有効性が高い。
		活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	○	
		先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	
	目的及び指標等の達成状況に対する評価	<p>教育研究活動においては、福知山公立大学の特色である「地域協働型実践教育研究」に取り組み、地域課題の解決に寄与した。また、福知山市をはじめとする北近畿地域において多くのフィールドワークを実施したほか、北近畿地域の行政職員等が講義を行う「グローバル特別講義Ⅰ」など、特色ある科目配置を行うとともに、各教員による地域の企業等と連携した研究活動に取り組んだ。</p> <p>学生確保の面では、公立大学法人と福知山市が連携して全国1,100校以上（延数）の高校を訪問して大学の周知に努め、665人の志願者（志願倍率5.5倍）を獲得することができた。</p> <p>成果実績「全就職者数に占める北近畿地域への就職者数」の最終目標は福知山公立大学入学1期生の状況を踏まえ設定するため空白とする。</p>		
今後の課題及び方向性	<p>引き続き福知山公立大学を支援し、教育研究活動の充実、学生確保に向けた募集活動、さらには外部資金の獲得やコスト削減による業務改善を通じた公立大学の財務基盤の強化に取り組んでいく。</p> <p>また、福知山公立大学の中期目標前文に掲げる「地域で学び、地域で働く」という人材循環システムの構築に向けて、北近畿地域への若者定着に向けて就職支援に取り組む必要がある。</p>			

	所見
二次評価（庁内評価） 【行革担当課記入】	
三次評価（外部評価） 【行革担当課記入】	

	方針区分	内容
来年度方針	<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input checked="" type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	<p>令和2年度は、情報学部が開設され、地域経営学部との文理連携による北近畿の各界との地域連携・地域協働活動の充実を図る。</p> <p>そのために必要な経費を運営費交付金として「知の拠点」整備構想にもとづき交付する。</p> <p>令和2年度は、情報学部開設による地方交付税分が増額。 (1,554,000円×100人=155,400,000円)</p> <p>【平成30年度棚卸による見直し状況】 ・キャリアガイダンスやインターンマッチング会、各種就職説明会等については、本市の産業観光課をはじめ、ジョブパーク等とも連携し実施している。</p>
	予算への反映 【財政担当課記入】	予算額の反映状況(対H31) <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充

福知山市 令和元年度事務事業評価シート(3次公表)

(単位：千円)

事業属性	担当課	市長公室 大学政策課												
	作成責任者	岸本 範義												
	事業名	福知山公立大学就学生支援事業												
	会計情報	款	教育費	項	大学費	目	大学振興費	会計	一般会計	事業コード	660106	決算付属資料	254	頁
	施策体系	施策コード	020501	施策名	地域の将来を担う人材を育成する									
	開始年度	平成28年度												
	終了予定年度	令和2年度												
	関連計画等	-												
	根拠法令等	福知山公立大学入学支援金支給要綱、福知山公立大学奨学金支給要綱												
	事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ()												

基礎情報	事業目的 (あるべき姿)	福知山公立大学に入学し、または在学する者の修学意欲の向上を図るとともに、経済的理由により修学が困難である者に入学支援金・奨学金を支給することにより、社会に有為な人材の育成を図ることを目的とする。また、奨学金事業の創設を通して、福知山公立大学の教育環境の充実を図ることにより、志願者の増加を目指す。									
	対象者	福知山公立大学生	対象者数	366	単位あたりコスト	17.4					
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 工事・修繕等 <input type="checkbox"/> その他 ()									
	委託先・実施主体等										
	事業概要	【福知山公立大学入学支援金】 ・新入学生及び新規編入学生を対象に入学時1回限り支給。所得制限、住所要件あり。 ・支給額：30,000円～282,000円/年 【福知山公立大学奨学金】 ・1回生から4回生までを対象に最長4年間支給。所得制限、住所要件、成績要件あり。 ・支給額：10,000円～20,000円/月									
	主な経費と具体的内容 (N-1年度実績)	項目	具体的な内容							H30経費	
	扶助費	福知山公立大学入学支援金							782		
	扶助費	福知山公立大学奨学金							1,560		
	関連事業										

予算と執行の状況	区分	H28	H29	H30	R1	R2要求額						
	配当予算	①当初	3,762	3,624	6,360	4,162	470					
		②補正予算	0	2,327	0							
		③流充用額			△ 1,440							
		④繰越額計	0	0	0	0	0					
	前年度繰越			0	0	0						
		次年度繰越		0	0	0						
	財源内訳 (①④⑤内訳)	一般財源	0	0	0	0	0					
		国支出金	0	0	0	0						
		府支出金	0	0	0	0						
		地方債	0	0	0	0						
		その他特財	3,762	5,951	2,342	4,162	470					
	主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	福知山公立大学就学支援事業基金繰入	種類	基金繰入金	実績金額	2,342	決算付属資料	36	頁		
		特財名称		種類		実績金額		決算付属資料		頁		
	人件費	従事職員数 (正職/嘱託)	0.17/0.22	0.14 / 0.19	0.13 / 0.17	0.13 / 0.17						
⑤概算人件費		1,910	1,595	1,465	1,465							
⑥総事業費 (①+②+③+④+⑤)		5,672	7,546	6,385	5,627							
⑦執行額		1,900	5,088	2,342								
執行率 (⑦/(①+②+③+④)×100)		50.5%	85.5%	47.6%	0.0%							

業績指標	成果実績 (アウトカム) 実績/当初目標	指標	単位	H28	H29	H30	R1	最終目標
		制度利用し卒業に至った人数	人	1/1	0/0	0/0	/	制度利用者全員
		志願者数の確保	人	926/600	761/600	665/600	/ 850	850
	活動実績 (アウトプット) 実績/当初見込	指標	単位	H28	H29	H30	R1	最終目標
		入学支援金利用者数	人	8/24	26/21	9/28	/ 11	制度条件に合致する学生全員
		単位あたりコスト		237.5	195.7	260.2		
		奨学金利用者数	人	5/12	19/9	11/27	/ 22	制度条件に合致する学生全員
		単位あたりコスト		380.0	267.8	212.9		

項目		評価	評価に対する説明
必要性	市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	・教育の機会均等を図り、社会に有為な人材の育成を図るという制度趣旨や福知山市民の数を増加させるという観点を踏まえると、法人設立団体である本市が実施することが望ましい。
	民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	○	
	目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	
効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	○	・市内高校生の進学率の向上、また市内高校生に対する優遇措置を図る観点から、市外出身者より市内出身者の奨学金額を高く設定している。 ・平成31年度に本市の就学援助制度の所得基準制度と整合を図る。(生活保護基準1.5倍⇒1.3倍に見直し)
	他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	○	
	コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	
有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	○	・成果目標については、制度利用者のうち卒業生(4回生)の数を設定している。 ・給付型奨学金を導入していることについて、各高校から高い評価をいただいている。
	活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	○	
	先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	
目的及び指標等の達成状況に対する評価	経済的な理由により修学が困難な学生に対し、入学支援金・奨学金を支給することにより、修学意欲の向上や自己実現支援を図ることができた。また、学生募集活動に際しても、各高校から本制度を高く評価する声を多く受けている。		
今後の課題及び方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・本奨学金は、対象学生及び保護者の教育費負担を軽減するとともに、本市への転入を前提条件としていることから市民の数の増加にもつながる効果的な施策である。寄附金を財源として事業を運営し、市のふるさと納税でも本制度への支援を重点的に呼びかけており、学生を市と市民が支える仕組みとしては意義がある。 ・国における高等教育無償化制度の動向等を見据えながら、本奨学金の継続の必要性を検討する必要がある。 		

所見	
二次評価 (庁内評価) 【行革担当課記入】	
三次評価 (外部評価) 【行革担当課記入】	

	方針区分	内容
来年度方針	<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input checked="" type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	<ul style="list-style-type: none"> ・来年度からの高等教育無償化制度の導入により今まで行ってきた支援制度である「入学支援金」と「奨学金」制度について本年度をもって廃止し、新たに「高等教育無償化制度交付金」事業を立ち上げ、交付税措置を原資とした大学への交付金事業とする。 ・高等教育無償化に該当しない福知山出身の入学生に対する入学金の減免制度を新たに立ち上げ、地元進学者増加を狙う。
	予算への反映 【財政担当課記入】	<input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充